



# NEWSLETTER

### 児童英語教育実習開始

後期授業が開始し、実習(選択制)の一つである「児童英語教育実習(船橋)」が開始しました。船橋市では、平成二十年度に、教育課程特例校の指定を受けて以来、市内の全54校の小学校一年生から四年生まで英語を教科として、五・六年生では「外国語活動」として授業を実施しています。船橋市では、担任とALT<sup>1</sup>が全授業を、隔週でJC<sup>2</sup>も加わり授業が行われています。実習期間中、学生は、先生・児童の補助や授業実践を通して、これまで授業内で学習してきた知識を、実際の公立の小学校の現場で経験することが出来ます。この他、児童英語教員養成課程では、以下の実習から選択、または複数履修することもできます。

- ・ 「児童英語海外実習」
- ・ 「児童英語教育実習(沖縄)」
- ・ 提携大学での小学校実習単位振替

興味のある方は、お気軽にCTECまたは教務課までお問い合わせください。

- 1: Assistant Language Teacher (外国語指導助手)。主に、中学高等学校等へ、英語等の授業において、日本人教員の補助を務める。
- 2: Japanese coordinator of English (日本人英語指導コーディネーター)。



過去の実習生の様子  
(於 船橋市内小学校)



## 卒業生インタビュー #1

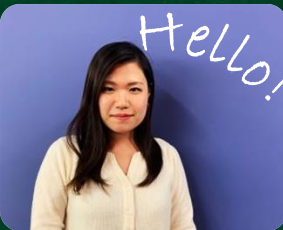
かさまつ はるか  
笠松 遥香さん

英会話教室  
事務職 (カウンセラー)

IC学科 2019年3月 卒業

H29年度  
「児童英語海外実習」  
H29・30年度  
「児童英語教育実践」

千葉県立成田国際高等学校 国際科 卒業  
KIFL2年次 編入



### 自分で考え積極的に動く 様々な経験が将来へつながる

英会話スクールで、英語学習者の語学習得のサポートをしています。悩みなどを聞き、学習のアドバイスや、生徒やお母さま方の希望に沿ったレッスンが受講できるよう教師と生徒の架け橋の役割をしています。在学中の児童への英語指導ボランティア活動は大変でもありましたが、とても楽しく、各学年に応じた指導案を仲間と必死に考え、手作りの教材を用いた授業は、非常に大きな思い出となっています。仕事は、目の前の物事や生徒に対して自分がどう動くかを考えることが求められますが、仲間と協力したボランティア活動の当時の経験が、英語を学ぶ生徒たちの手助けにつながっています。

#### 後輩のみなさんへ

学校でのイベントや興味のあることを、たくさん経験してください。限りある大学生生活、とにかく全力でやりきれば、のちの就活に大いに活かされると思います。ぜひ、今、目の前のことに全力で臨んでください!

## CTEC 「研究事業」

CTECでは、下記研究事業を行っております。

1. 小学校英語教育の現状・成果調査
2. 理論・実践研究、研究実践
3. 指導者養成・研修プログラムの開発
4. シンポジウム開催
5. 他教育機関との連携

1では、「船橋市児童生徒の英語学習状況及び外国語活動に関する意識調査」として、平成28年度より市内公立小学校高学年児童に英語力(主にアルファベットの文字・音、語彙)のテストを実施し、また、テストを実施した児童、同市内公立中学校1年生、同学年を担当した小学校担任・ALT・JC・中学校英語科教員を対象に意識調査を行い、報告をしました。

4では、シンポジウム・講演・ワークショップなど様々な形式で、最先端の研究結果等を踏まえたイベントを開催しています。



アメリカCA州公立小学校教諭による講習の様子



ここ数年、すっかり日本でも行事として定着しているHalloweenですが、「ハロウィン＝ジャコランタン＝オレンジ色のかぼちゃ」と認識している方がほとんどではないでしょうか。でも実は、Jack-o'-lanternは元々かぼちゃで作られたものではなかったことをご存知でしょうか。では、「ハロウィン＝かぼちゃ」がなぜこれほどまでに日本で定着しているのかというと、かぼちゃが良く収穫できたアメリカで、オレンジ色のかぼちゃがハロウィンの時期にはランタンとして代用されるようになり、その文化が日本でも広まっているからなのですね。ちなみに、Jack-o'-lanternに使用されるオレンジ色のかぼちゃはpumpkinですが、日本でも見かけるようなかぼちゃは、pumpkinではなく、squashと呼ぶ英語圏があります。(AUSやNZではどちらも同じという意見も有) オレンジ色の硬い皮のpumpkinはsquashの中の1種類なのです。Jack-o'-lanternの日本語訳も、「ジャコランタン」だったり、「ジャック・オー・ランタン」だったり、「かぼちゃおぼけ」だったり—いろいろな言い方がありますね。

それでは、かぼちゃではなく、もともとは何だったのかというと...

### “Jack-o'-lantern”

There was a selfish man named Jack. When he died, he could not go to the heaven. The devil threw him a hot, glowing coal. Jack carved a turnip and put the shining coal inside the turnip and tried to find the way to the heaven. Then, people called him Jack of the Lantern, or Jack-o'-lantern.

- Ginnons, Gail (2003) *Halloween is...*, Holiday house

実は、カブだったのです。アメリカでカブが採れていたなら、日本でも「かぶおぼけ」が定着していたかもしれませんね。

むかーし、むかし...  
Jack-o'-lanternは  
“pumpkin”  
じゃなかった!



CTECでは季節やイベントに併せて、図書や教材の配置を変えています。10月になりセンター内も、Halloweenに関連した教材を展示しています。借用できるものもありますので、ぜひ手にとってご覧ください!



## materials for Halloween

【略歴】  
上智大学卒業後、獨協大学大学院修了(英語教育学修士)。その後、青山学院大学大学院にて博士後期課程を修了し博士号取得(初等英語教育)。専門は児童英語教育、応用言語学、音声教育。本学では児童英語教員養成課程科目や総合英語科目を担当の他、中高教職課程やSALCと協働で教職課程履修者のための教員採用試験対策としてティームティーティングプロジェクトを運営している。  
東京都内の公立小学校の外国語活動を担当し、現在は船橋市内の小学校で実践活動を行いながら、公立小学校における効果的な指導法や日本人児童の英語音声習得を研究している。

【「挨拶」】  
今年度より副センター長を仰せつかりました河合です。担当している「児童英語教育論」では、子どもに英語を教えることの意義を考え、理論的な背景を学んだり、小学校英語を中心に模擬授業にも取り組みます。「児童英語カリキュラムデザイン」では、基礎科目で培ったことを活かし、教えてみたい年齢層の子どもの教室環境に応じて、模擬授業に取り組みながら、授業立案やカリキュラム作成能力を高めていきます。いよいよ来年度から小学校英語が「教科」になります。学生の皆さんにとっては、子どもに英語を教える可能性がもっと広がります。積極的に履修してください。



河合 裕美  
(かわい ひろみ)  
児童英語教育研究センター  
専任講師・副センター長

CTEC教職員紹介 ②  
副センター長・河合 裕美

### 10月CTEC開室予定 (2019年9月30日時点)

(月)・(水)～(金) 9:00-17:00 (火) 9:00-14:00 (土)・(日)閉室

#### 【開室時間変更日】

- 1日(火) お昼休み閉室
- 2日(水) お昼休み閉室
- 14日(月) 9:00-14:30
- 23日(水) 3限閉室
- 24日(木)～28日(月) 終日閉室

#### 【CTEC関連スケジュール】

- 1日(火) 沖縄実習面接
- 11日(金) イベントボランティア応募締切
- 23日(水) 3限船橋実習 中間指導①

開室予定は変更になる場合があります。CTECドア前の最新版を参照してください。

#### For more information

[TEL] 043-273-1579

[E-mail] [ctec@ml.kuis.ac.jp](mailto:ctec@ml.kuis.ac.jp)

[URL] <https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/labo/ctec/>

編集: 佐々木

